

柔軟目地は、主に内装用の陶磁器質タイル用目地材です。

一般のセメント系目地材と比べて可とう性が高いため、ある程度のひずみに追従でき、ひび割れやタイルとの肌別れが抑制できます。

目地寸法によって M タイプと B タイプの 2 タイプからお選びください。

【適用部位】

- ・内装タイル目地部（壁・床）
- ・目地寸法に対する柔軟目地の適用タイプは表 1 によります。
大型床タイル張りの場合は、目地幅 3 mm 以上で B タイプの使用を推奨します。

表 1

柔軟目地	施工許容寸法
Mタイプ	目地幅 2 mm～3 mm 目地深さ 2 mm以上 6 mm以内
Bタイプ	目地幅 3 mm～10 mm 目地深さ 3 mm以上 10 mm以内

※ 施工箇所の下地が木質床の場合、タイルの大きさは 200 角以上を推奨します。これ未満では、ひび割れの生じる恐れがあります。

〈 施工ができない箇所 〉

- ・常時水かかりのある箇所
- ・ブラッシング清掃が頻繁に必要な箇所（例：風呂場など）
- ・他部材との取り合い部

【施工上の留意点】

- ・ 柔軟目地の施工は、タイルの張付材が十分に硬化してから行なってください。セメント系張付け材の場合は2日間以上養生し、接着剤の場合は銘柄ごとに硬化時間を確認してください。
- ・ 施工面が直射日光や水濡れにさらされないよう保護してください。
- ・ せっき質タイル、粗面のタイル、無釉タイル、白系色タイル、および吸水性の比較的高いタイルへの施工は、タイルに付着した目地汚れが取れにくく、タイルの意匠を損なう場合がありますので、必ず事前に試験塗りを行なってご確認下さい。
- ・ 吸水性の高い石材などでは、シミが出る可能性があります。磨き仕上げの床タイルや石材には、表面周囲に刃文のような、シミや傷のように見える跡があります。張付け施工前にご確認ください。
- ・ モザイクユニットタイルへの施工の場合は、タイル表面にユニット紙の糊が残存していないか確認してください。ピンホールや色ムラ、タイルの汚れ等の原因になりますので、施工の前に糊を完全に除去しておいてください。
- ・ 柔軟目地が厚くなりすぎると、乾燥収縮による痩せや白華現象が生じやすくなります。目地深さが許容範囲より深い場合は、モルタルを中込みして抑え込んで硬化させるか、バックアップ材を充填してください。ただし仕上げの柔軟目地の施工深さを3~5mm程度は確保し、できるだけ一定の深さに調整してください。柔軟目地が薄くなりすぎると、ひび割れの原因になります。
- ・ タイル目地部の張付けモルタルや接着剤に凹凸がありすぎると、柔軟目地に乾きムラが生じ、色ムラの原因となることがあります。また、極端に柔軟目地の厚さが変わるとひび割れの原因になります。
- ・ 押さえ仕上げは注意が必要です。押さえるタイミングの差によって色ムラの生じる恐れがありますのでご注意ください。乾燥が進んで固くなった状態で無理やり押えようと、タイルの側面との接着にズレが生じ、後にタイルとの肌別れの原因となる可能性があります。表面を水で濡らして押さえると白華現象が生じます。裸足歩行する床面施工の目地押さえ仕上げを行う場合、目地とタイルの段差が深くなったり、押さえてバリができたりすると危険です。目地深さを上手く調整し、バリが残らないようにきれいに除去してください。
- ・ 床暖房で面積が広い場合、下地の伸縮によって目地割れの生じる恐れがあります。3~4m間隔で伸縮目地(シーリング)を設置することを推奨します。
- ・ 柔軟目地は、やや弾性があるため硬いブラシなどでこすると傷や摩耗が生じます。柔軟目地の施工後の周囲の他工事や、施工面に資材を置く場合は、2日間以上経過してから保護シートを敷いて保護してください。乾燥養生が十分でない状態の時にシート等で覆うと、解放後に白華現象が生じるのでご注意ください。

【施工方法】

1. 材料の混練

- ・表2の調合に基づき、柔軟目地をハンドミキサーなどで練り混ぜてください。
- ・容器に練り水を入れ、柔軟目地粉体を徐々に加えながら、練り残しのないよう3分間程度練り混ぜてください。
- ・練り混ぜた材料は30分以内にご使用ください。

表2

調合	
柔軟目地粉体	上水道水
Mタイプ 5kg	1.15 ℓ
Bタイプ 5kg	1.10 ℓ

- ・水量の過多は色調に不具合やひび割れの原因になります。水量には十分ご注意ください。
- ・練り足しや水を加えての練り直しは行わないでください。

2. 目地詰め

- ・タイルの側面や張付材の吸水が激しい場合は、硬化不良やひび割れ予防のため目地部分に水湿しを施して目地詰めを行なってください。(柔軟目地施工時に目地部に水が溜まっている場合は、色ムラ・白華現象等の原因になりますのでスポンジ等で吸い取ってください。)

「塗り目地工法」

- ① 練り混ぜた柔軟目地を、ゴムコテでタイル面から押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填してください。
- ② タイル汚れの拭き取りは、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイル表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻してください。
- ③ スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜めに拭き取ってください。
- ④ 汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞って③の拭き取りを繰り返してください。

《注意》

- ・塗り込みはしっかりと行ってください。目地内部に充填不足の場所があると、ひび割れやタイルとの肌別れが生じてしまいます。
- ・柔軟目地は樹脂が多量に配合されていますので、タイル表面で固まると取れなくなるおそれがありますので、できるだけ早く拭き取ってください。
- ・拭き取り後に目地表面に浮き水が残存していると色ムラの原因になりますので、浮き水が残らないようご注意ください。(拭き取り時のスポンジの水分に注意してください。)
- ・場所によって拭き取るタイミングに差がでると、骨材の露出ムラや色ムラのでる恐れがありますのでご注意ください。
- ・目地の押え仕上げは乾き具合にご注意ください。乾きかけで押えることでタイルの側面との接着にズレが生じ、後にタイルとの肌別れの原因となります。また、押さえ時の乾き具合の違いで色ムラが生じます。軟らかすぎる状態で押さえると白華現象が生じます。

3. 養生

- ・ 施工後2日間は、施工面が直射日光や水濡れにさらされないように保護してください。なお、施工面に密着したシート掛けなどを行うと、解放した後に白華現象が生じやすいので、施工部表面は空気が流れやすいように保護して下さい。
- ・ 施工後2日間は、ひび割れの原因となりますので振動や衝撃を与えないようにしてください。特に木質床のような振動を伝えやすい下地では、十分硬化する前に周辺を歩き回るとひび割れの生じる恐れがあります。
- ・ タイル表面の水洗いを行なう場合は、材齢7日間以上経過してから行なってください。

【柔軟目地のメンテナンスについて】

〈補修の方法〉

補修部と既存部の色調は完全に一致させることは困難でありますことをあらかじめご了承ください。

- ① 補修部分周囲のタイルなどを、柔軟目地が付着しないよう養生テープで保護してください。
- ② 柔軟目地の粉体から骨材をふるい出して除去し、耳たぶ程度のかたさに水で練り混ぜてください。
- ③ ゴム鏝やシーリング用のヘラなどで補修部に塗り付け、表面を平坦に仕上げてください。
- ④ スポンジにいったん水を含ませて、しっかりと水を絞り出し、塗り付けた柔軟目地の表面をやさしく撫でてください。撫でた後に、表面に余分な水気が残留すると変色の原因になるのでご注意ください。
- ⑤ 十分乾燥するまでは表面を保護材などで覆わないでください。白華現象(白くなる)の原因となります。また、ドライヤーなどでの強制乾燥は硬化不良が生じますので行わないでください。
- ⑥ 柔軟目地が硬化してから養生テープを除去してください。
- ⑦ 補修後2日間は触れないでください。1週間程度は強い摩擦にご注意ください。環境によって強度発現に差異があり、摩耗する可能性があります。

※ 柔軟目地をお取り扱いの際は、粉塵を吸入しないようにマスクを着用してください。

また、水で練り混ぜた状態の柔軟目地は、アルカリ性を呈しますので、目や皮膚の保護具(ゴーグルやゴム手袋など)を着用してください。

〈付着した汚れの除去方法〉

多少吸水性のあるセメント系目地材のため、付着した汚れを完全に除去することは困難でありますことをあらかじめご了承ください。

- ・ こびりついた汚れは、基本的には完全に除去することは困難です。表面を研磨するしかありません。
- ・ まず、柔軟目地表面を熱めのお湯で湿らせて、付着した汚れに対応した洗剤を用いてやさしく撫で洗いして、少し湿らせた布で洗剤をふき取ってください。
強い酸性洗剤は柔軟目地の表面を溶解する恐れがあります。
50°C以上のお湯またはスチームを当てながら、細目または極細目のシート型ナイロンタワシで柔軟目地をやさしくこすって研磨してください。タイルを研磨すると傷が入る恐れがありますのでご注意ください。すこし軟化させて研磨するため柔軟目地表面は摩耗します。こすりすぎると深く窪んでしまうためご注意ください。
- ・ 研磨後の表面は少し粗くなったり、骨材が露出する場合がありますことをあらかじめご了承ください。

【取扱上の注意事項】

- ・ 製品の保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
 - ・ 製品は製造年月日を確認して、4ヶ月以内にご使用ください。
 - ・ 固まった製品の使用は避けてください。
 - ・ 気温が5°C以下および5°C以下になると予想される場合は、施工は行なわないでください。
 - ・ 製品には弊社の指定する材料以外の混入は避けてください。
 - ・ 材料の性質上、吸水の激しいタイルへの施工はおすすめできません。
 - ・ 常時水掛かりのある場所やブラシで擦り洗いするような場所には使用できません。
 - ・ 製品のお取扱に際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用の上、適切な安全対策を実施してください。
- 本施工要領書は、作成した時点で入手した情報に基づいて作成しており、断りなく変更することがありますことをご了承下さい。

二瀬窯業株式会社

本 社： 〒820-0044 福岡県飯塚市大字横田 669

TEL (0948) 22-0447 / FAX (0948) 29-0289

2022.06